高等学校 令和6年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ G組

教科担当者：（ACDG組：金澤）（BEF組：田所）

使用教科書：（筑摩書房「現代の国語」）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「境目」 【知識及び技能】「境目」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】教材の内容、他者との関係、自分の「境目」に関心を持たせる。	・指導事項 人間の認識の道具として対象を「区別」する言語が、同時に差別や暴力を生むという二面性について、学習者の認識を深める。 ・教材「境目」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 「境目」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係、自分の「境目」（中学から高校への「境目」など）に関心を持っている。	○	○	○	6
	B「サイエンスの視点、アートの視点」 【知識及び技能】 「問い」を立てるということを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握させる。	・指導事項 二項対立を確認し、対比されている概念について正確に理解させる。 ・教材「サイエンスの視点、アートの視点」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 「問い」を立てるということを通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	C「ことばとは何か」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 「ことばとは何か」ということに関心を持っている。	・指導事項 言語の枠組みが世界認識の枠組みとなる、という主張に理解を深め、身近な具体例に気付かせる。 ・教材「ことばとは何か」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 「ことばとは何か」ということに関心を持っている。	○	○	○	6
	D「贈り物と商品の違い」 【知識及び技能】 本教材を通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握させる。	・指導事項 筆者による問題提起とその解答およびその根拠について考えさせることで、本文の主題と論旨を確認させる。 ・教材「贈り物と商品の違い」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 本教材を通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1	
2 学 期	E「誰かの靴を履いてみること」 【知識及び技能】実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 自分の理解を言語化することの重要性、および「市民」としての行動について、「息子」の言葉と母親である作者の語りを通して考える。 ・教材「誰かの靴を履いてみること」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】実社会との関わりを考えるための読書の意義と効果について理解をふかめている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	6
	F「〈私〉時代のデモクラシー」 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の考える「〈私〉時代」について理解し、学習課題に沿って「デモクラシー」の本義と現代の「デモクラシー」を比較し、自分の考えをまとめ、他者と話し合わせる。	・指導事項 〈私〉が時代の焦点となった現代を「〈私〉時代」と規定し、そういう時代の中で「私たち」を形成することの難しさについて考える。 ・教材「〈私〉時代のデモクラシー」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の考える「〈私〉時代」について理解し、学習課題に沿って「デモクラシー」の本義と現代の「デモクラシー」を比較し、自分の考えをまとめ、他者と話し合おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	G「魔術化する科学技術」 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握することができる。	・指導事項 科学的な知の特徴を整理させようとして、魔術や呪術と近代科学技術を対比しながら、科学技術の発展が社会にもたらした影響について理解させる。 ・教材「魔術化する科学技術」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握することができる。	○	○	○	6
	H「記憶する体」 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の味方の仕方について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 目の見える人と見えない人の記憶の内容や、世界認識のあり方の差異について理解させる。 ・教材「記憶する体」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の味方の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	7